

三菱 UFJ e スマート証券、証券基幹システムのモダナイゼーションに Oracle Exadata Cloud@Customer を採用

株式発注システム「RAIDEN」などを移行し、約 210 万口座規模のオンライン証券事業を
支える性能、可用性、運用効率を強化

日本オラクル株式会社(本社:東京都港区、取締役 執行役 社長:三澤 智光)と株式会社アシスト(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:大塚 辰男)は本日、[三菱 UFJ e スマート証券株式会社](#)(本社:東京都千代田区)が、株式発注システム「RAIDEN」および勘定・売買審査データベースの次期基盤に「[Oracle Exadata Cloud@Customer](#)」上の「[Oracle Exadata Database Service](#)」を採用したことを発表します。本番環境と準本番環境に「Oracle Exadata Cloud@Customer」、BCP 環境に「[Oracle Cloud Infrastructure\(OCI\)](#)」上の「[Oracle Base Database Service](#)」を導入します。2026 年 7 月末時点で約 210 万口座を有する国内有数のオンライン証券事業を支えるミッションクリティカルなデータベース基盤をモダナイズし、2027 年 3 月までに移行を完了する予定です。

1999 年に設立された三菱 UFJ e スマート証券は、2025 年に株式会社三菱 UFJ 銀行の 100%子会社となり、現社名に変更しました。現在は、株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループのネット証券戦略の中核を担っています。「RAIDEN」は、国内株式の現物・信用取引、先物・オプション取引における注文取次ぎ、注文・約定および取引履歴の管理に加え、金銭・有価証券残高、信用取引保証金、先物取引証拠金などを管理する株式発注システムです。2014 年の稼働開始以来、同社のオンライン取引サービスを支える中核システムの一つとして運用されています。

三菱 UFJ e スマート証券は、既存の「[Oracle AI Database](#)」を含むデータベース基盤の更改にあたり、複数のオンプレミス製品で構成されたインフラの保守・運用負荷と、ストレージ固有の機能に依存したバックアップやデータ複製の複雑な運用を見直す必要がありました。一方、証券取引を支える基幹システムとして、高い処理性能、拡張性、可用性を確保しながら、金融機関に求められるデータ統制を維持することが不可欠でした。

こうした要件に対し、データを自社データセンター内に保持しながら、クラウドサービスの自動化やライフサイクル管理を活用できる点を評価し、「Oracle Exadata Cloud@Customer」の採用を決定しました。同サービスは、ミッションクリティカルな OLTP に求められるデータベース性能と拡張性を備え、既存の「Oracle AI Database」ワークロードとの高い親和性を有します。さらに、OCI 上の「Oracle Base Database Service」と組み合わせることで、BCP 環境を含む一貫したデータベース構成を実現できます。

本プロジェクトでは、2026 年 5 月の「Oracle Exadata Cloud@Customer」納品後、データベースの構築とテストを段階的に進め、2027 年 3 月に対象データベースを切り替える計画になり、三菱 UFJ e スマート証券とアシストが一丸となり、本プロジェクトを推進しています。基礎検討段階では、Oracle Customer Success Services のコンサルタントが、オラクルの国内外の技術知見を活用し、PoC ならびに方式設計を技術面から支援しました。

本番稼働後は、クラウドサービスの自動化とライフサイクル管理を活用し、パッチ適用を含む運用の標準化と効率化を進めることで、IT 部門がデータベースや業務システムの改善に注力できる環境を整備します。また、「[Oracle Real Application Testing](#)」を活用して、パッチ適用などの変更がシステムに与える影響を本番適用前に検証し、安定した運用の維持を図ります。

本発表に向けたお客様からのコメント

『RAIDEN』をはじめとする証券基幹システムには、市場環境の変化や取引量の増加に対応する性能と、金融機関に求められる高い可用性、統制が不可欠です。『Oracle Exadata Cloud@Customer』上の『Oracle Exadata Database Service』を採用することで、データを自社データセンター内に保持しながらクラウドの運用性を取り入れ、将来にわたり安定したサービス提供を支える基盤を構築していきます。

三菱 UFJ e スマート証券株式会社 システム技術部長 高橋 佑太 氏

2026 年 11 月 12 日に開催する [Oracle Exadata Conference 2026 Tokyo](#) (主催: 日本オラクル) にて、本プロジェクトをご紹介します。

日本オラクルについて

私たちのミッションは、人々が新たな方法でデータを理解し、本質を見極め、無限の可能性を解き放てるよう支援していくことです。データ・ドリブンなアプローチにより情報価値を最大化するクラウドサービス、それらの利用を支援する各種サービスを提供しています。オラクル・コーポレーションの日本法人。東証スタンダード市場上場(証券コード: 4716)。

URL: www.oracle.com/jp

オラクルについて

オラクルは、広範かつ統合されたアプリケーション群に加え、セキュリティを備えた自律型のインフラストラクチャを Oracle Cloud として提供しています。オラクル (NYSE:ORCL) に関するより詳細な情報については、www.oracle.com をご覧ください。

アシストについて

アシストは、特定のハードウェアメーカーやソフトウェアベンダーに偏らず、幅広いソフトウェアを取り扱う会社です。複数のソフトウェアと支援サービスに独自のノウハウを組み合わせ、企業の情報システムを支援します。情報活用、運用、データベースの各分野に加え、近年では生成 AI やナレッジ活用などの新たな領域にも対応を拡充しています。

URL: <https://www.ashisuto.co.jp/>

■本件に関するお問い合わせ先

日本オラクル株式会社

広報室 谷地田

pr-room_jp@oracle.com

株式会社アシスト

広報担当: 曾根原、岡部

URL: https://www.ashisuto.co.jp/corporate/contact/press_room/

- ※ Oracle、Java、MySQL 及び NetSuite は、Oracle Corporation、その子会社及び関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。NetSuite は、クラウド・コンピューティングの新時代を切り開いたクラウド・カンパニーです。その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。
- ※ プレスリリースに記載された製品／サービスの内容、価格、仕様、お問い合わせなどは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。
- ※ 本発表は日本オラクル株式会社、株式会社アシストの共同リリースです。両社から重複してお手元に届く場合がありますが、あらかじめご了承ください。